


調査仕様・結果概要

調査目的	新型コロナウイルス感染症による生活の変化と収束後の継続意向の把握
設問	・新型コロナウイルス感染症(別名：COVID-19)拡大により、緊急事態宣言が出ました。宣言が出る前に比べて、あなたの生活の中で変化したことをお答えください。(いくつでも) ・あなたは、上記であげた生活の変化を、新型コロナウイルス感染症が収束した後も続けていきたいと思いませんか。(それぞれ1つだけ)
調査方法	インターネット調査
調査期間	4月28日(火)～5月7日(木)
サンプル数	1,355サンプル(15才～79才の男女) ※2015年国勢調査の結果を基に人口とエリアで割付 ※各エリアの内訳は以下の通り 北海道・東北:北海道,青森,岩手,宮城,秋田,山形,福島 関東:茨城,栃木,群馬,埼玉,千葉,東京,神奈川,山梨,長野 中部・北陸:新潟,富山,石川,福井,岐阜,静岡,愛知,三重 近畿:滋賀,京都,大阪,兵庫,奈良,和歌山 中国・四国・九州:鳥取,島根,岡山,広島,山口,徳島,香川,愛媛,高知,福岡,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄

調査結果概要	<p>生活の中で変化したこととして、「家族と話す時間が増えた」「部屋を掃除する回数が増えた」等があげられ、7割の人が何らかの変化があったと回答。また、ほとんどの項目で7割以上の人が新型コロナウイルス収束後も、その変化を継続していきたいと回答。</p>
--------	---



新型コロナウイルス感染症による生活の変化と収束後の継続意向

調査結果詳細

緊急事態宣言が出る前と比べて、あなたの生活の中で変化したことについて尋ねたところ、全体では「家族と話す時間が増えた」が最も高く25.8%であったが、他にも2割台の同程度で、「部屋を掃除する回数が増えた」(24.8%)、「料理を多くするようになった」(24.3%)、「政治に対する関心が高まった」(24.0%)、「睡眠時間が増えた」(22.1%)、「趣味の時間が増えた」(21.5%)もあげられている。

全体から「特になし」の29.3%を除いた約7割の人が、生活の中で何らかの変化があったと回答した。

性別で見ると、女性の「料理を多くするようになった」(33.8%)、「部屋を掃除する回数が増えた」(32.1%)、「家族と話す時間が増えた」(28.4%)、「政治に対する関心が高まった」(28.0%)、「睡眠時間が増えた」(24.6%)が男性と比べて高い。

男性は、生活の中で変化したことが「特になし」と答えた人が36.2%と、女性の22.6%と比べて高い。

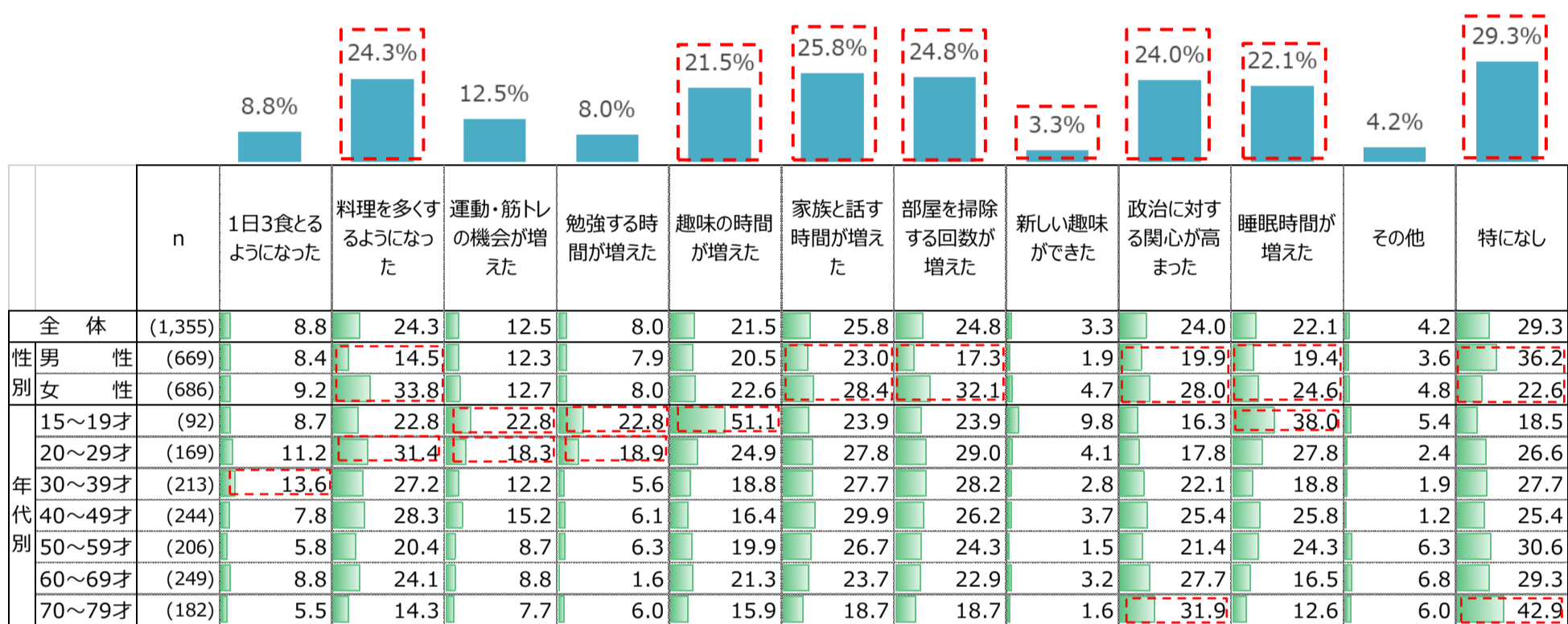
年代別で見ると、15才～19才は「趣味の時間が増えた」(51.1%)や「睡眠時間が増えた」(38.0%)、「運動・筋トレの機会が増えた」(22.8%)、「勉強する時間が増えた」(22.8%)が、全体と比べて高い。

20代では、「料理を多くするようになった」(31.4%)、「勉強する時間が増えた」(18.9%)、「運動・筋トレの機会が増えた」(18.3%)が全体と比べて高い。

30代では、「1日3食とるようになった」(13.6%)が全体と比べて高い。40代～60代は、全体と比べて特に違いは見られない。

70代では、生活の中で変化したことが「特になし」(42.9%)が全体と比べて高い。変化したことの中では、「政治に対する関心が高まった」(31.9%)が全体と比べて高い。

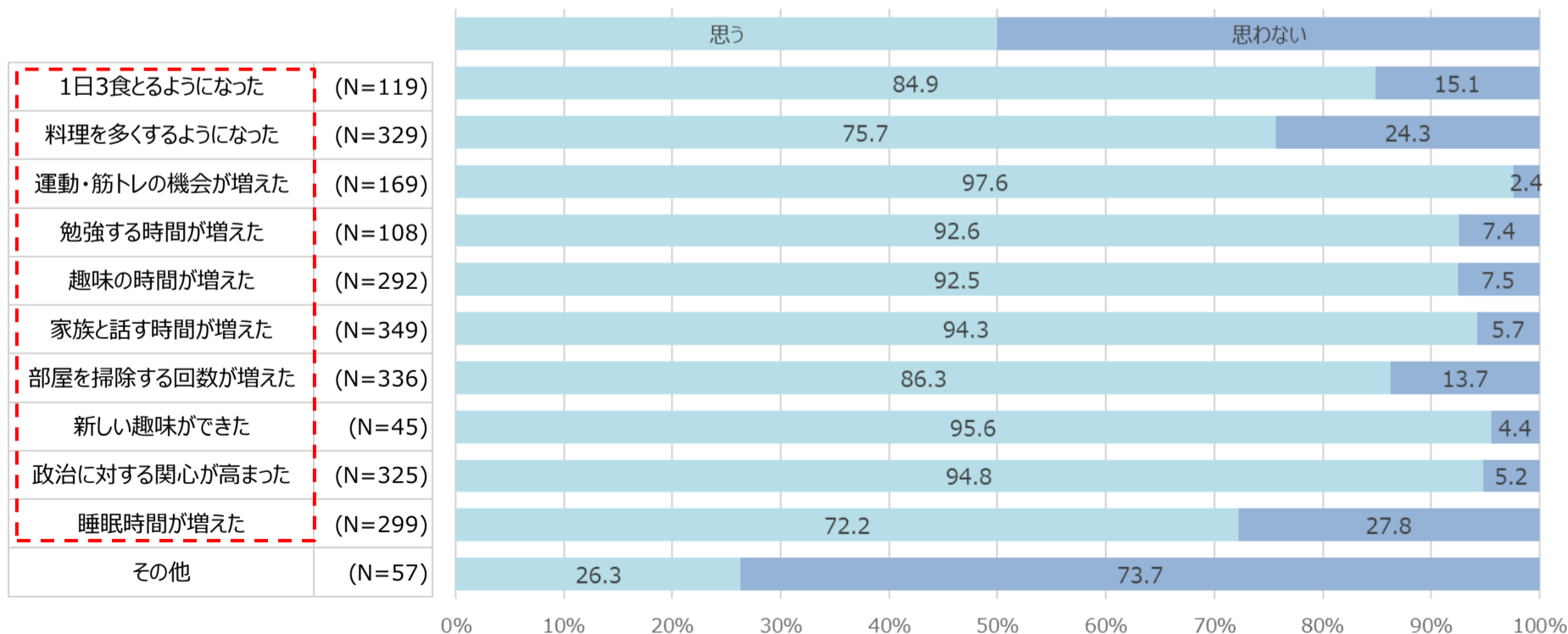
Q. 新型コロナウイルス感染症(別名：COVID-19)拡大により、緊急事態宣言が出ました。宣言が出る前に比べて、あなたの生活の中で変化したことをお答えください。(いくつでも)



変化があった人に、その変化を、新型コロナウイルス感染症が収束した後も続けていきたいかと尋ねたところ、全体では多くの項目で、「続けていきたい」と「思う」と答えた人の割合が7割を超えた。

生活の中で変化したことを、収束後も続けていきたいと前向きに捉えている傾向が窺える。

Q. あなたは、上記であげた生活の変化を、新型コロナウイルス感染症が収束した後も続けていきたいと思いませんか。(それぞれ1つだけ)



《引用・転載時のお願い》

本レポートの外部への引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 (information@nrc.co.jp)

担当：営業企画本部営業企画部第3チーム 中垣 花瑠奈

掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。